

### 第3回会津若松市総合計画審議会 議事録

日時 令和8年3月24日（火） 午後1時00分～午後2時55分  
会場 会津若松市役所 本庁舎4階 会議室4-1  
出席者 会津若松市総合計画審議会委員16名（16名のうち3名欠席）  
事務局（企画政策部副部長、企画政策部副部長兼企画調整課長、企画調整課員3名）  
総合計画策定支援業務受託事業者（株式会社NTT データ経営研究所3名）  
内容 以下のとおり

1. 開会
2. 会長あいさつ

発言者	内容
司会（企画調整課長）	会長よりごあいさつを頂戴いたします。
会長	<p>会津大学にて開催されたタウンミーティングに参加した際に、株式会社ニッセイ基礎研究所の天野先生にデータサイエンスの観点から講演いただきました。会津では若年層の人口流出が問題になっているが、女性の流出率が男性の3倍になっているとご指摘いただいた。大学に進学する女性が増えている一方で、大卒の女性が働く受け皿が地方には少ないことが現状であり、その場を作らないといけないと、女性が会津に残れないということでした。</p> <p>また、婚姻数の減少が少子化に繋がっているというお話もありました。共稼ぎが標準になっている現代では、昭和の経済成長期のライフスタイルと大きく変容しているため、女性が地方で働くことのできる環境づくりが課題です。</p> <p>こうした課題を踏まえ、2つのことを考える必要があります。①人口減少に対応するために、少しでも人を増やしていく取組、②人口減少に適応した形で市民が幸せに暮らせる仕組み作り。これら2つは重要な論点であると考えています。この2つの観点を意識して、本日はご意見いただきたいと考えます。</p>
司会（企画調整課長）	ありがとうございました。

### 3. 議事

(1)会津若松市の人口の現状等について

(2)次期総合計画 基本構想案について

(3)その他

発言者	質疑内容等
●事務局	<p>ここで、第1回、第2回審議会を都合によりご欠席されましたが、今回ご出席されております委員をご紹介します。</p> <p>福島県会津地方振興局企画商工部部長 結城友次様です。よろしくお願いたします。</p>
○結城委員	<p>よろしくお願いたします。</p>
●事務局	<p>本日も、次期総合計画の策定の支援を行っていただいている株式会社 NTT データ経営研究所からも出席をいただいております。</p> <p>委員 16 名中 13 名が出席されておりますので、総合計画審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは会長より議事を進めていただきます。よろしくお願いたします。</p>
○会長	<p>しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。</p> <p>はじめに、(1)会津若松市の人口の現状等について、事務局の説明をお願いいたします。</p>
●事務局	<p>(資料に基づき内容を説明)</p>
○会長	<p>いったん、説明が終わりましたので、ここから委員の皆様からご意見やご質問等を伺います。いかがでしょうか。</p>
○委員	<p>P.10 の外国人住民の推移について、基本的に韓国や中国、フィリピンは同じように推移している様に見えますが、その他は増えていると読み取れます。増加しているのは、どの国の人でしょうか。</p>
●事務局	<p>その他は、内訳をみるとベトナム人の方が多くなっています。技</p>

	<p>能実習生として来日した方と思われます。</p>
○委員	<p>外国人住民が増えたことによる治安への影響について、外国人の犯罪割合は把握していますか。</p>
●事務局	<p>市としては把握していません。</p>
○委員	<p>外国人が居住していることを踏まえて、外国人と日本人の婚姻の状況は把握していますか。</p>
●事務局	<p>今はデータを持っていませんが、何らかのデータは存在していると思います</p>
○委員	<p>P. 38 に記載の社会動態について、2020 年が増加し、その翌年に減少した要因を把握していますか。</p>
●事務局	<p>毎年起こり得る変動の範囲であると考えています。新型コロナウイルス感染症による影響も多少あると思いますが、特殊要因と呼ぶほどのものではないと考えています。</p>
○委員	<p>P. 16 の記載について、黄色と緑の差が人口減少の要因とのことでしたが、子どもが 10 年で半減していることを踏まえると、10 年後に学校が存続できるのか、不安に感じます。こうした状況を踏まえて、総合計画を検討したいと考えます。</p>
○委員	<p>P. 26 の記載について、喜多方市からの転入が多いとのことですが、その要因は何でしょうか。</p>
●事務局	<p>国勢調査の結果を反映したものであるため、要因については把握できていません。</p>
○委員	<p>P. 25 の記載について、20～24 歳の女性の転出が超過している要因は何でしょうか。</p>
●事務局	<p>就職による流出と考えられます。2 月に開催したタウンミーティングにおいて講演をいただいたニッセイ基礎研究所の天野氏によれ</p>

○委員	<p>ば、賃金面も含めて、当該年代の女性が希望する職種・職業の企業がほとんどないことが大きな理由と分析されています。地元企業と女性の就職意向にミスマッチが生じていると考えられます。</p> <p>若者が流出しているということですが、私自身、外部でキャリアを積み、会津に戻ってきました。会津には歴史を重んじる文化があり、20～30歳代の人新しいものを取り入れようとしても、上の世代はそうした新しい物を取り入れない傾向があるように感じています。そういった面でミスマッチが生じているのではないのでしょうか。</p>
○会長	<p>市民会議では「失敗を認める文化・地域にしていけないと若い人は残らない」という意見もあったと聞いているので、考えていく必要があると感じました。</p>
○委員	<p>女性が大学に進学し、キャリアを積むという話について、自分の周りにもそういった人が多くいます。婚姻者が子どもを持つ率が高いのは、会津に残った人を見ると合っている様に思います。</p> <p>キャリアアップを考えると晩婚化が進むため、そういった人のために、不妊治療などのサポートがあれば、より子どもを増やしていけるのではないのでしょうか。会津若松には女性クリニックが少なく、医師も高齢化しています。また、不妊治療ができる病院が1つしかなく選択肢がありません。不妊治療の成功率を求める人の中には、都内・仙台に通院している人もおり、そうした観点での補助があるとよいのではないのでしょうか。</p>
○会長	<p>ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか</p>
○委員	<p>出産前後は両親のサポートが必要な場面が多い。職場を休みにくい環境もあり、子どもが突然発熱したときに、困ることがあります。そうした観点でも支援を行うことで、女性が戻ってきやすい環境づくりが必要と考えます。</p>
○委員	<p>自営業の場合は、娘が戻ってきて家業を継いでいる傾向があります。両親が近くにいるから、安心して子どもを産むことができると考えます。会津の女性がお婿さんを連れて会津に帰ってくるという</p>

	<p>選択肢も持ってもらえると良いのではないのでしょうか。このような観点でも、魅力ある街づくりをしていく必要があります。</p>
○委員	<p>人口減少や晩婚化について話が出ましたが、会津地域では農業への影響が出ています。人口減少の影響で農家の数が著しく減少しています。ある地域では、現在小学生が8人であり、5年後には0人になる可能性があります。総合計画では農家のことも考えて検討していただきたいです。</p>
○会長	<p>地域ごとに問題を解決していく必要があると考えます。</p>
○会長	<p>ありがとうございました。それでは引き続き、(2)次期総合計画 基本構想案について、事務局の説明をお願いいたします。</p>
●事務局	<p>(資料に基づき内容を説明)</p>
○会長	<p>説明が終わりましたので、ここから委員の皆様からご意見やご質問等を伺います。</p>
○委員	<p>P.73の記載について、総合計画のフレームは、まち・ひと・しごと創生法が根拠と認識しています。P.66の人口規模の変化に対応で来る持続可能なまちづくりということで、ポジティブな意見をいただいたが、ネガティブな部分も考える必要があります。会津は人口減少への耐性を持っていないため、人口減少を視野に入れて、減少を受け止めて考えていくべきであると考えます。P.41の目標値について、出生率1.65の根拠は何か、妥当性をお聞きしたい。</p>
●事務局	<p>P.41に記載している希望出生率の算出方法は、国の地方創生関係の資料の中で使用されているものです。また、福島県も同じものを使用しています。国・県で使用しているものを用いているという点で妥当性があると考えています。</p>
○委員	<p>人口減少は避けられないため、コンパクトシティにしていくビジョンは作らないといけなく考えます。きちんと向き合わないと、公共サービスが受けられないということが現実となる可能性があります。人口が減少する点はシビアに考えて、人口減少を受け止めて</p>

<p>○副会長</p>	<p>考える必要があります。</p> <p>世界情勢を踏まえ、食料自給の観点でも、農家の存続も重要な観点です。</p> <p>学校が減っていくのは仕方ない部分もあるが、学校が減ると人も減ってしまうという懸念もあります。広域でどのように教育の質を担保するかということを検討していく必要がありますので、この視点でのまちづくりをお願いしたい。</p> <p>人口減少に関する状況について説明がありましたが、菊地委員の発言にもあったとおり、人口減少は避けられない未来です。他自治体との地域間競争も必要であるため、当地域の歴史・風土を掘り起こしやブラッシュアップし、プロモーションすることが重要と考えています。それが他地域との差別化につながります。</p> <p>商工会議所のキャッチフレーズは、「持続可能な地域の創生」です。東京は関係人口で経済効果が生まれているほか、スペインやフランスには、関係人口で維持している街があり、これらは国の人口以上の関係人口を抱えています。</p> <p>移住促進という施策もあるが、限られたマスの奪い合いになってしまいます。関係人口はリピーター促進の視点です。リピーターに着目した結果、私の地元の商店街は、関係人口が50万人になりました。このような関係人口の視点を持つことが大切だと考えます。</p>
<p>○委員</p>	<p>私の周りには子どもを多く持っている家庭もあるため、状況や環境を整えば、子どもを持つことのハードルが下がるのかもしれない。</p> <p>まちづくりに関しては、活字の計画も大事だが、図面で示さないと一般の人はイメージが湧かないと考えます。設計士やゼネコンの若手等も交えて図面化する必要があると考えます。商工会議所と連携して、取り組んではいかがでしょうか。</p>
<p>○会長</p>	<p>ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか。</p>
<p>○委員</p>	<p>P.41の理想子ども数について、ママ友間で話題に上がるのが経済面についてです。お金があればもう1人子どもが欲しいという会話もよくあります。若い世代に還元していくまちづくりはマストであると思うし、今、手を打たないともう後はないと考えます。今でも</p>

<p>○委員</p>	<p>遅いくらいなので、未来に投資をしてもらいたいです。</p> <p>県外で福島県出身という話をすると、会津若松ですかと聞かれるくらい、当市の地名度は高いと感じています。</p> <p>観光の観点で言えば、日曜日に預けられる保育園がある場合、観光施設で働くことも可能となるため、そのような施設があると良いと考えます。</p> <p>教育の観点では、プールの水が暑すぎて入れないことがあるようです。また、山形で熱中症による事故が起きてしまっているため、中学校や高校の体育館にエアコンを入れてほしいと考えます。子どもをもつ親としては、熱中症の危険性緩和や災害時対応のため、早々に導入すべきと考えます。</p> <p>空き家が問題になっており、雪で塀が崩れたり火事が燃え移ったりという事例があるため、空き家を更地にしていただきたい。</p>
<p>○委員</p>	<p>城東町に住んでおり、子どもと散歩をしているが、オフシーズンのためか観光客が殆どいない状況です。このようなオフシーズンにできることはないかを検討していただきたいです。併せて、観光地の周りの道路整備をしてほしい。そうすることで関係人口も増えるのではないのでしょうか。</p> <p>息子が卵アレルギーであるため食べ物には気を遣っています。アレルギーを持っている人も米は安全であり、会津の作物は安全なものが多いと思います。</p>
<p>○委員</p>	<p>本日は、次期総合計画にかかる基本構想案の審議を行うとなっているが、審議会では何をどこまで決めるのでしょうか。P.61に記載されている基本理念案は、事務局で検討し、次回審議する形になるのでしょうか。</p>
<p>●事務局</p>	<p>本日は、まず市の人口の現状について委員の皆様と認識を共有させていただいた上で、総合計画の基本構想について、構成案等をお示ししました。計画そのものは最終的には市が決定するものですが、その前段として、構成案の考え方をはじめ、基本理念や基本目標などについて、ご意見を伺いたいという趣旨で開催しています。とくに、「みんなの未来ビジョン」については、良い案やキーワードがあれば、ご提案いただきたいと考えています。</p>

○委員	<p>基本理念案について、「あゆみを重ね、未来をはぐくむ会津若松」という案が良いと感じました。この先10年を考えたときに、歴史を大切にしつつも、会津のどのような未来を描くかということを検討する必要があります。</p> <p>この会議についても、会津の未来をどのように考えるか、みなさんからご意見いただきながら考えていく必要があると考えています。そのあたりを他委員から意見いただきたいです。</p>
○会長	<p>今回は事務局提案を出していただいています。どのような言葉を用いるのがよいか、今後の審議会で委員の方から意見をいただければと思います。</p> <p>私自身、かつて飯舘村の総合計画に関わった中で、「までいライフ(MADAY LIFE)飯舘」というキャッチフレーズが作られ多くの住民に浸透した結果、村づくりが盛り上がった経緯があります。このような経験からも、住民や若者の心に刺さるようなキャッチフレーズが良いと考えています。</p>
○委員	<p>市民会議から提案された「みんなで未来をDIY」のワードは良いと思います。DIYという言葉からは、市民が主体となって進めていくという気持ちを感じます。行政任せとするのではなく、市民が主体となって、子どもの教育を中心に郷土愛の醸成を推進していければよいのではないのでしょうか。</p>
○委員	<p>審議会の在り方について、審議案件と協議案件は分けて考える必要があるのではないのでしょうか。</p>
●事務局	<p>第1回及び第2回の審議会は、計画を審議いただくというより、これまでの取組の報告などについて説明し、広くご意見を伺いました。今回からは、基本構想の構成案等などをお示し、皆様から案に対するご意見をいただきたいと考えています。次回以降は、さらに個別施策に関するご意見をいただければと思います。</p>
○会長	<p>ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか。</p>

○会長	ほかにご質問等がないようですので、(3)その他に入ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。
○委員	会津若松のまちづくりについて、テレビ番組で高級レストランの活用や古墳への宿泊など、ユニークな取組を取りあげられていました。会津の文化を使えば、様々な取組ができるのではないかと思います。
○会長	その他ご意見いかがでしょうか。
○会長	事務局からは何かございますか。
●事務局	(次回審議会の開催予定、団体等における役員改選等への対応の連絡)
○会長	その他、何かありますでしょうか。 ないようでしたら、以上で議事を終了いたします。これをもって議長の任を解かせていただきます。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。
●事務局	岩崎会長ありがとうございました。 以上をもちまして、「第3回会津若松市総合計画審議会」を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。

#### 4. 閉会